

重点戦略マネジメントにより抽出した課題一覧

☆の課題は、とちぎ創生15戦略と共通する課題

No.	重点戦略／プロジェクト	重点的取組	課 題
1			<p>☆<婚姻件数の増加に向けた対策の推進></p> <p>・婚姻件数は、20歳代及び30歳代の人口減少等に伴い、全国的に減少傾向にあり、本県も同様であることから、婚姻件数を増やすための対策を講じる必要があります。</p>
2	<p>【重点戦略1】 次代を拓く人づくり戦略</p> <p>2 夢をつむぐ子ども・子育て支援プロジェクト</p>	結婚、妊娠・出産、子育て支援の充実	<p>☆<母子の状態やニーズに応じた、妊娠から出産、子育て期まで切れ目のない支援の充実></p> <p>・妊娠・出産について満足している者の割合は上昇しており、多くの母子保健事業の実績は高い状況ですが、産後1か月までの新生児訪問の実績は6.9%と低く、産後うつや虐待死亡等のリスクの高い産後1か月間における支援の充実を図る必要があります。</p> <p>「子育て世代包括支援センター」は徐々に増加しており、妊娠期から切れ目のない効果的な子育て支援ができるようにするとともに、未設置市町に居住する母子に対しても支援ができる仕組みを構築する必要があります。</p>
3			<p>☆<保育所等の受入枠の拡大及び保育士の確保></p> <p>・保育所等への申込児童数の増加等により、待機児童は解消されていないことから、引き続き保育所や認定こども園の新設等により受入枠の拡大を進めるとともに、保育士・保育所支援センターの活用等により保育士確保対策に努める必要があります。</p>
4	<p>【重点戦略1】 次代を拓く人づくり戦略</p> <p>3 輝く女性活躍推進プロジェクト</p>	あらゆる場面における女性の活躍と参画の促進	<p>☆<女性が働きやすい職場環境の整備></p> <p>・女性求職者については、フルタイムでの勤務を希望するものの、長時間労働などにより仕事と家庭の両立が困難であるため、やむを得ずパートタイムで就労するケースもあると考えられるなど、女性求職者の意向と企業の職場環境のミスマッチが生じていることから、女性の就職率の向上を図るためには、企業の職場環境の改善を図る必要があります。</p>
5	<p>【重点戦略1】 次代を拓く人づくり戦略</p> <p>4 感動共有スポーツ推進プロジェクト</p>	国体等を見据えた競技力向上	<p><スポーツ医・科学支援体制の整備></p> <p>・競技力向上には、指導者や競技団体の経験や知見に基づく指導に加え、スポーツ医・科学・情報による支援が重要であり、本県では県体育協会へ委託しスポーツ医・科学事業を実施していますが、医学・心理学・栄養学など、分野間での情報の共有を一層図っていく必要があります。</p>
6	<p>【重点戦略2】 強みを生かす成長戦略</p> <p>1 とちぎの産業躍進プロジェクト</p>	ものづくり産業の更なる発展	<p>☆<県内企業のIoT等活用促進></p> <p>・県内企業からIoT等の革新的なものづくり手法の導入に関心が高いことが示されている中、国においては、地域未来投資促進法や地方版IoT推進ラボ等により中小企業におけるIoT導入等について重点的に支援する仕組みづくりに取り組んでいます。本県においても、こうした動きを的確にとらえ、製造品出荷額等の増加はもとより本県企業の競争力強化が図れるよう、本県企業によるIoT等の活用の支援に早期に取り組む必要があります。</p>
7	<p>【重点戦略2】 強みを生かす成長戦略</p> <p>1 とちぎの産業躍進プロジェクト</p> <p>2 とちぎを支える企業応援プロジェクト</p>	<p>立地環境を生かした企業誘致の推進</p> <p>多様な産業人材の確保・育成</p>	<p>☆<県内企業の人材確保・育成></p> <p>・県内企業の人手不足による事業展開への影響や、企業誘致における立地先の選定の際に人材の確保を重視する企業のニーズへの対応が困難になることが懸念されることから、新規立地企業を含む県内企業が必要な人材を確保できるよう、関係機関との連携を図り、人材確保のための取組を強化する必要があります。</p> <p>また、全国でも有数のものづくり県である本県の産業を支える技能者の裾野の拡大を図るため、技能五輪全国大会の開催を契機に高まった技能レベルや技能尊重重賞、及び次世代人材育成等の取組をレガシーとして継承していく必要があります。</p>

No.	重点戦略／プロジェクト	重点的取組	課 題
8	【重点戦略2】 強みを生かす成長戦略 2 とちぎを支える企業応援プロジェクト	中小・小規模企業の持続的発展の促進	☆<県内における創業しやすい環境の整備> ・中小企業白書2014によれば、女性やシニアは意欲やアイデアはあるものの、創業に結び付きにくいとされており、開業率を上げるためには、女性やシニア層による創業の促進を図っていく必要があります。
9	【重点戦略2】 強みを生かす成長戦略 3 とちぎの農林業成長プロジェクト	成長産業へ進化する農業の確立	☆<米政策の見直しに対応した園芸作物への作付転換> ・平成30年産からの米政策の見直しに伴い、需給バランスの崩れによる米価下落や米直接支払交付金廃止による農家所得の減少、さらには空き農地の発生拡大等、様々な影響が懸念されています。特に、農地の8割を水田が占める本県においては、主食用米から園芸作物への作付転換を早急に進める必要があります。
10	【重点戦略2】 強みを生かす成長戦略 3 とちぎの農林業成長プロジェクト	林業・木材産業の成長産業化の推進	☆<素材生産力の強化> ・林業産出額は、皆伐促進事業の成果等により素材生産量が増加していることから、増額すると見込んでいますが、引き続き素材生産量の増加に向けた取組を実施していく必要があります。
11	【重点戦略2】 強みを生かす成長戦略 4 観光立県とちぎプロジェクト	魅力と活気ある観光地づくり	<公共交通のユニバーサルデザイン化> ・東京オリンピック・パラリンピックや本県で開催する国民体育大会・全国障害者スポーツ大会を契機として、障害の有無、年齢等に関わらず、地域住民はもとより観光客が移動しやすい公共交通環境の整備をするため、鉄道駅に加え、二次交通のユニバーサルデザイン化を推進する必要があります。
	【重点戦略3】 暮らし安心健康戦略 3 共生社会実現プロジェクト	ノーマライゼーションの推進	
12	【重点戦略2】 強みを生かす成長戦略 4 観光立県とちぎプロジェクト	戦略的な観光誘客の推進	☆<観光情報等の発信力の強化> ・更なる観光誘客や県産品の販路拡大を図るため、首都圏はもとより、本県の知名度の低い大阪を中心とした関西圏等において栃木県の魅力である観光や県産品等の情報に触れる機会を積極的に創出していく必要があります。
	【重点戦略5】 誇れる地域づくり戦略 3 とちぎの誇りプロジェクト	発信力の強化ととちぎのブランド力の向上	
13	【重点戦略3】 暮らし安心健康戦略 3 共生社会実現プロジェクト	障害者が安心して暮らせる環境づくりの推進	<医療的ケア児が在宅で安心して暮らせる環境づくり> ・近年、医療技術の進歩等を背景として、NICU(新生児集中治療室)等に長期入院後、引き続き人工呼吸器や胃ろう等を使用し、たんの吸引や経管栄養等の医療的ケアが必要となる障害児(医療的ケア児)が増加しています。 しかしながら、長期入院後の退院支援や介護を行う家族への支援が不十分であり、また、医療的ケア児の受け入れ可能な福祉サービス事業所が少ないなど、医療的ケア児の在宅生活を支える体制を整備していく必要があります。
14	【重点戦略4】 快適実感安全戦略 1 災害に強いとちぎの基盤づくりプロジェクト	災害から県民を守る強靱な地域づくり	<水防災意識社会の再構築> ・関東・東北豪雨など豪雨災害が頻発・激甚化する中、本年5月に改正された水防法に基づき、洪水等からの「逃げ遅れゼロ」を図るため、住民が自らリスクを察知し主体的な避難を促すなど水防災意識社会の再構築に努めていく必要があります。

No.	重点戦略／プロジェクト	重点的取組	課 題
15	【重点戦略4】 快適実感安全戦略 2 暮らしやすい「まち」づくりプロジェクト	コンパクトな「まち」づくり	<p>☆＜住民による地域コミュニティの維持・再生活動の促進＞</p> <p>・人口減少・高齢化の進展に伴い、行政サービスの低下や商店の撤退などの生活サービスの低下により、集落機能が衰退しており、将来的な集落の維持が危ぶまれる一方、その集落で暮らし続けたいというニーズも高い状況にあります。</p> <p>また、自治会における役員のなり手不足、加入率の低迷などにより、地域コミュニティの希薄化が課題となっています。</p> <p>人口減少社会が続く中で、集落機能を維持していくためには、地域住民主体による地域コミュニティの維持・再生活動を促進していく必要があります。</p>
	【重点戦略5】 誇れる地域づくり戦略 1 魅力あるとちぎの地域づくりプロジェクト	多様な主体との協働や連携・交流による地域づくり	
16	【重点戦略5】 誇れる地域づくり戦略 1 魅力あるとちぎの地域づくりプロジェクト	住みたい、住み続けたい地域づくり	<p>☆＜県内大学等の魅力づくり＞</p> <p>・大学の東京一極集中の是正は、全国知事会でも強く主張してきているところであり、県としても様々な場を通じて訴えていく必要があります。</p> <p>また、地方大学の中から本県の大学等が県内の高校生等にも選ばれるよう、大学コンソーシアムとちぎと連携し、各大学等の魅力づくりを進める必要があります。</p>
	【重点戦略5】 誇れる地域づくり戦略 1 魅力あるとちぎの地域づくりプロジェクト		<p>☆＜県内大学生等に対する地域理解の促進＞</p> <p>・宇都宮大学は、県内の「知の拠点」として、産学官連携のもと、地域産業の発展と人材の育成に資する教育プログラムを展開しているところであり、当大学等により構成される大学コンソーシアムとちぎと連携し、県内の大学生等に対して、本県の現状と課題、県内産業の魅力や可能性等に関する理解を促進し、とちぎへの愛着心の醸成や地元定着につなげていく必要があります。</p>